

第39回筑豊地区私立幼稚園教師研修会

人権教育の推進

福岡県教育庁筑豊教育事務所
人権・同和教育室

○ はじめに

1 乳幼児期における人権教育

2 「さまざまな人権課題」について

3 新型コロナウイルス感染症に関わって

○ おわりに



1 乳幼児期における人権教育

I 乳幼児期における人権教育

第2節 人権教育の指導内容と指導方法

3. 指導方法の在り方

(4) 児童生徒の発達段階等を踏まえた指導方法の工夫

【参考】発達段階に即した人権教育の指導方法

I: 幼児期

幼児期は、自他の認識や自意識は明確ではないが、他者の存在に気づく時期であり、遊びを中心にして友達との関わりあいの中で、社会性の原型ともいえるものを獲得していく。(中略)

幼児にとっては、生活の場自体が学びの場であり、人権感覚の芽生えの場でもある。

こうした幼児期の特徴を踏まえて、遊びを中心とする生活の場で、自分を大切にできる感情とともに、他の人のことも思いやれるような社会的共感能力の基礎を育むという視点が必要である。

Ⅰ 乳幼児期における人権教育

各学校において人権教育を進めるにあたっては、まず、教職員自身が人権尊重の理念を十分に認識することが肝要です。その上で、人権に関する知的理解を深めさせ、人権感覚を身に着けさせる指導を組織的・計画的に進めることにより、児童生徒が「自分の大切さとともにほかの人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れることをめざしていくこととなります。

I 乳幼児期における人権教育

人権教育の指導の出発点ー子どもの理解ー

就学前における教育の推進

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて大切な時期です。

この時期に人権尊重の精神の芽生えを育むことが重要であることを踏まえ、一人ひとりの幼児の家庭環境、生活状況やその背景を十分に理解し、幼稚園や保育所などの幼児教育では、心身の調和のとれた発達の基礎を築くことができるよう支援します。

I 乳幼児期における人権教育

人権教育の指導の出発点ー子どもの理解ー

○子どもと日々向き合う中で、表情の変化、思いや願い、友だち関係、生活背景、家庭環境、などをしっかりととらえ、一人一人を支援するというたち場から指導することが重要

○家庭訪問などから、保護者の思いや願いを聞き、生活背景や家庭環境などを把握し、現象として見える事柄だけで一面的に判断しないことが重要

I 乳幼児期における人権教育

人権教育の指導の出発点ー子どもの理解ー

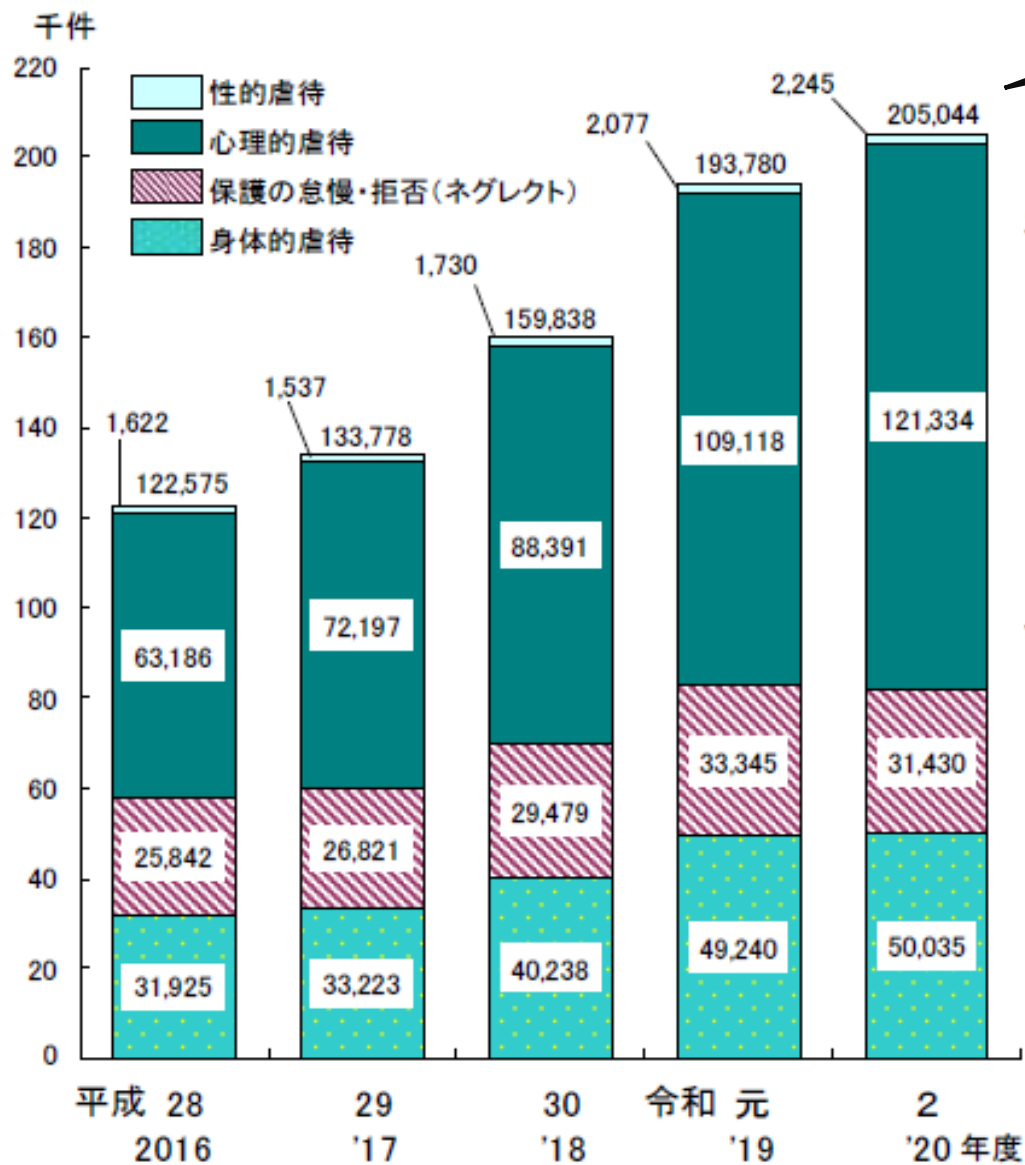
○様々な人権上の課題と向き合っている子どもがいます。子どもの背景にある生活や現実の厳しさを見抜きながら、子どもの成長や変化を生み出し、支援していくことが大切です。

⇒活動内容、表現等に対する子どもの反応に留意
⇒日ごろから適切な子ども理解や、保護者理解に努め、家庭・地域等と連携を図ることが大切

2 さまざまな人権課題について

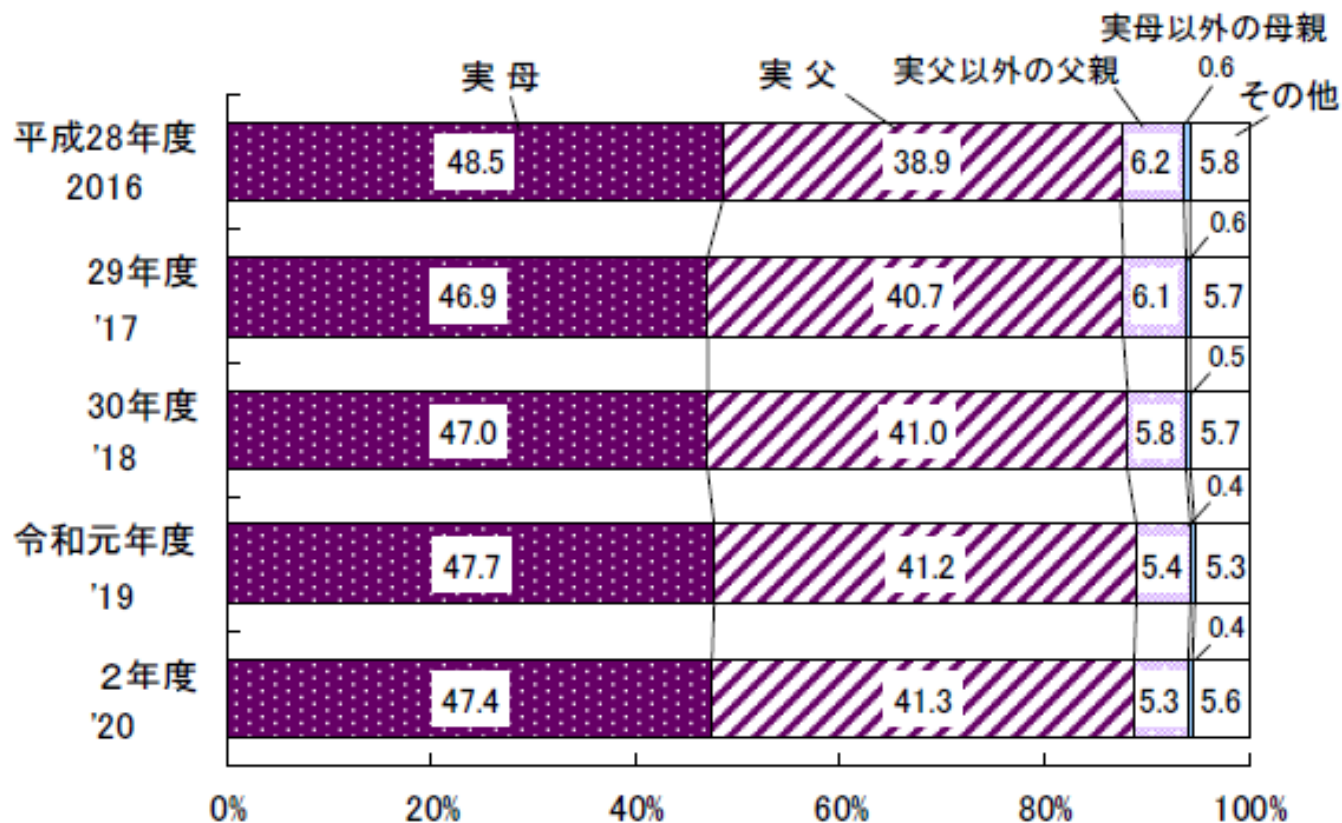
2 さまざまな人権について (1) 児童虐待

児童虐待の相談種別件数の年次推移



令和2年 205,044件

児童虐待相談における主な虐待者別構成割合の年次推移



(厚生労働省 福祉行政報告例の概況)

2 さまざまな人権について (1) 児童虐待

改正児童虐待防止法

(第5条)

学校、児童福祉施設、病院その他児童の福祉に業務上関係のある団体及び学校の教職員、児童福祉施設の職員、医師、保健師、弁護士その他児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなければならない。

(第6条)

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

2 さまざまな人権について (1) 児童虐待

虐待発見のポイント例

- ・アザや傷 等
- ・子どもの発言
「帰りたくない」
「お家で毎日叩かれる」
「昨日、ご飯食べなかった」
(食べさせてもらえなかった) 等
- ・保護者に対する態度
怖がる・隠れる 等
- ・健康面
体重の減少
病院につれていってない 等



見えないフリ、しないで。

あなたの見過ごしや無関心が、児童虐待の解決を遅らせます。間違ってもかまいません。
児童虐待かと思ったら、すぐにお電話ください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル **189** 通話料が無料になりました。

○電話番号がいりなどでお電話いただける方は、近くにいる方にお伝えいただき、通報してください。

気づきを、動きへ。

AC JAPAN

見守るポイント

- ・ 服装
- ・ 持ち物
- ・ お弁当
- ・ 給食費等の納入金の納入状況
- ・ 子どもの会話やつぶやき

等

2 さまざまな人権について (3) 性の多様性

幼児教育の場でのジェンダーニュートラルな取組み：保育園の個人マークや絵本など



2 さまざまな人権について (3) 性の多様性

あおいくんのかみかざり



作：河野七貴 画：西村愛良 古田新善



教育現場では・・・

- ① 不必要に男女を分けない
(名簿、並び方、役割、役柄、順番 等)
⇒ 男女共同参画の意識
- ② 制服の検討
- ③ 教職員の研修の充実
(気づき、声かけ、カウンセリング 等)
- ④ 保護者への啓発

2 さまざまな人権について (3) 性の多様性

- ・ 自分自身の性的指向や性自認に気付く年齢には、個人差があり、乳幼児期でも自覚する子がいる。
- ・ 「性の多様性」に関わっていじめが起きる可能性がある。
- ・ 意図せずアウティング（その人の性のあり方を本人の許可なく、第三者に伝えてしまうこと）をする可能性がある。

4月1日
スタート!

福岡県パートナーシップ宣誓制度



パートナーシップ宣誓制度が始まります!

～性の多様性を認め合い、たくさんの笑顔で暮らしていける福岡県へ～



県では、県民の皆さんが性の多様性について正しい理解と認識を深め、性的少数者の人が安心して生活し、活躍できる福岡県の実現を目指しています。

性的指向や性自認にかかわらず、人生を共にしたい人と安心して生活できるよう、4月1日から新たに、「パートナーシップ宣誓制度」を開始します。

2 さまざまな人権について (4) 外国にルーツを持つ子ども

どのようなことに困り感があるか？

子ども



- ・ 言語
- ・ 学びの経験
- ・ 宗教や文化による違い
- ・ 友達との人間関係

保護者



- ・ 言語
- ・ 宗教や文化による違い
- ・ 保護者同士の間人間関係

※「困り感」という言葉は、
学研の登録商標



情報検索サイト「かすたねっと」文部科学省
<https://casta-net.mext.go.jp/>

2 さまざまな人権について (4) 外国にルーツを持つ子ども

大切にしたいこと

- 一人ひとりの生活背景をとらえ、配慮すべきことを含め、子どもや保護者の理解に努める。
- 園全体の課題として捉え、園長先生をはじめとして、当事者の支援につながる関係機関や行政と連携し全職員で取り組む。
- 子どもたち、園にとって、メリットとして捉える。



「園」がどの子にとっても「安心できる場所」であること



3 新型コロナウイルス感染症に関わって

3 新型コロナウイルス感染症に関わって



まも たいせつ
守ってほしい、大切なこと。

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。



3 新型コロナウイルス感染症に関わって

〈児童生徒間でのワクチン接種の有無による偏見や差別の防止〉

○教職員の共通理解

…児童生徒の間でワクチン接種の有無による偏見や差別が生じることが懸念されるため、指導にあたる教職員が次の点について共通理解を図ること。

- ・ ワクチン接種は強制されるものではなく、受けるかどうかは本人や保護者の判断が尊重されるものであり、差別的取扱いのないようにすること。
- ・ 児童生徒の予防接種歴については、他の児童生徒等に知られることのないよう個人情報としての取り扱いに十分留意することは当然であり、偏見や差別の防止の観点からも児童生徒等のワクチン接種の有無を暴露したり、他の児童生徒等がいる前でワクチン接種の有無を言わせたりすることがないように細心の注意を払う必要があること。

○児童生徒等への指導

- ・ 児童生徒等に対しては、発達段階に応じて、身体的な理由等の様々な理由によって、ワクチンを接種することができない人や接種を望まない人がいることを十分理解させ、児童生徒間でワクチンの接種を強いるような雰囲気をつくらないように指導すること。
- ・ ワクチン接種についても、校内の相談体制を十分に整えること。

『学校における新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒等の人権への配慮について（通知）』
（3教人第2248号・令和4年3月4日）より

「教職員」として

人権に関する知的理解を深め、人権感覚を磨き続ける

- ・ 児童生徒の心の痛みに気づき、人権が尊重されているかを判断できる確かな人権感覚を身につける
- ・ 教育活動、日常の生活場面の中で、言動に潜む決めつけや偏見がないか、繰り返し点検する
- ・ 人権尊重の精神を基盤に、人間関係能力、コミュニケーション能力などを高める
- ・ 児童生徒理解を深め、カウンセリングの技法など、子どもへの働きかけを有効に行うための技法を身につける
- ・ 情報化の進展に伴う新たな人権課題の実態を知る